



のりお通信

ともに復興へ！ ー被災自治体に職員を派遣ー

東日本大震災から5年が過ぎ、仙台市の復興計画期間は終了しましたが、宮城県内の復興は道半ばです。仙台市では、職員不足によって事業の進捗に影響の出ている県内の自治体に、平成27年度から職員を派遣しています。

昨年12月、会派の有志で北部沿岸地域を訪問し、仙台市から被災自治体に派遣された職員を激励してきました。

復興の気概にあふれるとともに、地元自治体の職員と協調しながら業務に従事している姿が印象的でした。

今後とも、被災地全体の日も早い復興に仙台市としても貢献できるよう、議会の立場から取り組んでまいります。



南三陸町の土地区画整理事業現場にて

派遣先	平成27年度	平成28年度
石巻市	6名	8名
塩釜市	2名	1名
気仙沼市	6名	6名
名取市	4名	4名
多賀城市	2名	1名
東松島市	2名	2名
山元町	—	2名
女川町	2名	2名
南三陸町	2名	2名
石巻地方広域水道企業団	2名	2名
合計	28名	30名

あなたのicscaポイントは大丈夫ですか

仙台市交通局と宮城交通が導入しているICカード乗車券「icsca（イクスカ）」は、地下鉄やバスを利用するたびにポイントが貯まるということ、皆さんはご存知だと思います。

貯まったポイントを使うためには、ポイントのチャージが必要ですが、ポイントチャージには有効期限があります。有効期限までにポイントチャージを行わなかった場合は、その月のポイントは失効します。

今年の1月～3月に失効したポイントは実に959万円分にもなっています。地下鉄駅券売機などでポイントチャージができます。せっかく貯まったポイントをムダにしないようにしましょう。

ポイントチャージは、乗車日の翌月10日から翌年同月末日まで可能！

平成28年	失効ポイント
1月	228万円分
2月	374万円分
3月	357万円分

齋藤のりおプロフィール

- ◆昭和29年8月生まれ
- ◆古川高校・北海道大学経済学部卒業
- ◆宮城県職員となる
- ◆平成15年 仙台市議会議員初当選（現在4期目）
- ◆自由民主党仙台市支部連合会会長
- ◆仙台市議会において
 - 会派「自由民主党」会長代理
 - 市民教育常任委員

齋藤のりお事務所

TEL&FAX 022-375-2101

- 住所 仙台市泉区泉中央3-27-10
- ホームページ <http://www.saito-norio.net>
- e-mail info@saito-norio.net



みなさまのご意見をお待ちしています!!



豪雨時の混乱 回避へ！

皆様お元気でしょうか。私の市政報告をお読みいただきありがとうございます。

昨年9月の関東・東北豪雨においては、仙台市内でも七北田川や笹川の氾濫により、大きな被害が生じるとともに、避難情報の発令や伝達、避難所の開設等で混乱が起きました。

私は、昨年来、代表質疑や特別委員会での質疑を通して、課題解決に向けた取り組みを求めてきましたが、一定の方向付けがなされましたのでご報告します。

▶避難情報の発令

- ・七北田川上流地域に避難勧告がないまま、いきなり避難指示が発令された。
- ・避難勧告等の発令基準がないことが判明。

▶情報の伝達

- ・市のホームページが繋がりにくい状況にあった。
- ・テレビやラジオを通じて市民へ避難情報を伝えるLアラートシステムが、不具合により使用できなかった。

▶避難所の開設

- ・避難勧告の発令から開設までに2時間以上を要した避難所があった。
- ・事態が急変する豪雨時に、大規模地震時と同様の役割を地域団体に求めることは現実的でない。

▶市民への周知等

- ・従来の「洪水災害予測地図」が現実にくわなくなっている。
- ・避難所運営マニュアルの見直しが必要。

- ▶仙台市の要望を踏まえ、3月、県が七北田川の馬橋から赤生津大橋のまでの区域を水位周知河川に指定。
- ▶6月に県が避難勧告等発令の判断基準となる水位や浸水想定区域を示す予定。

- ▶災害時のホームページのサーバーを増強。
- ▶緊急速報メール、危機管理室ツイッター、ホームページなどの情報発信ツールを一元的に管理し、市民へ迅速に避難情報等を伝達するシステムを構築中。9月に運用開始予定。

- ▶豪雨時の避難所の開設は、基本的に市職員が行い、必要に応じて地域団体に避難所運営の参加を要請する。
- ▶迅速に避難所を開設できるよう、土砂災害警戒情報をもって市職員を避難所へ派遣し、避難所開設に備える。
- ▶大規模地震時に限定していた指定動員職員の派遣を豪雨時にも行う。

- ▶「水害・土砂災害ハザードマップ」を作成し、3月に全戸配布。（裏面にハザードマップの一部を掲載しました。詳しくは市ホームページをご覧ください。）
- ▶「避難所運営マニュアル（大雨時避難・開設編）」を作成中。

残された課題

仙台市全体でみると、指定避難所とされる小学校や中学校は、河川氾濫による浸水想定区域に多数存在しており、このような地域における住民の避難に課題が残されています。また、七北田川流域については、赤生津大橋より上流の河川改修が進んでおらず、災害のリスクを抱えています。河川改修が一番の課題です。